



地方独立行政法人
芦屋中央病院
Ashiya central hospital

広報誌

「かけはし」

看護部特集



看護部特集



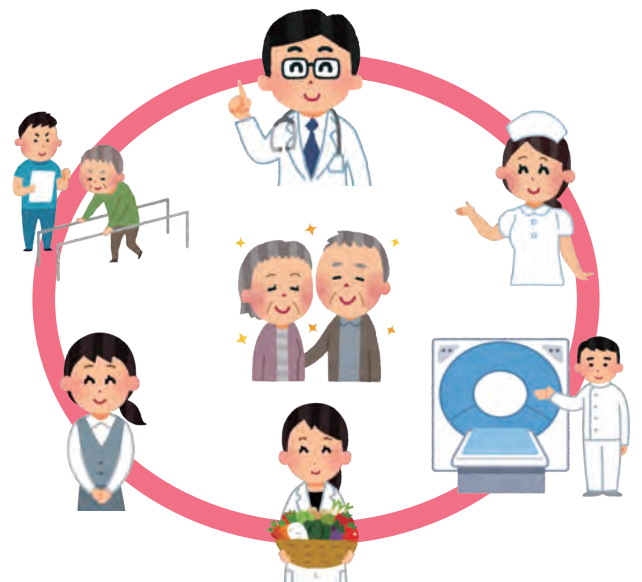
看護部長
竹井 安子

9月に入り新型コロナウイルス感染症は、第7波のピークを乗り越えつつあります。しかし、これから寒くなる季節を迎えインフルエンザの流行も予想され、感染対策に気のぬけない日々が続きます。1日でも早い感染症の終息を願うばかりです。

今回は看護部の特集です。『“主役は患者” 思いやりのある看護を目指します』を当院看護部の理念とし、看護師だけでなく看護補助者、社会福祉士、ケアマネジャーなどの専門職も看護部の一員として一緒に活躍しています。看護師の思いは、新築された病院のいろいろなところに反映されています。特に病棟は、患者さんの安全や利便性を考え、また医療スタッフの動線を考えた工夫があります。

日本では超高齢化が進み、国は団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に地域包括ケアシステム構築の実現を目指しています。病院は、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、その一端を担っています。私たち看護師は、患者さんに対して外来や入院生活の援助だけでなく病気との付き合い方などの相談・支援も行います。また、医師との連携はもちろんですが、リハビリや行政との橋渡しの役割も行います。当院の訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所、また地域医療連携室には病棟勤務の経験がある看護師が活躍していますので、スピーディーな連携が可能です。

地域に信頼される病院を目指し、今日も看護師たちは頑張っています。



看護師が活躍する各部門のご紹介

1階 訪問看護ステーション・地域医療連携室

訪問看護ステーションは、看護師が患者さんの自宅を訪問し、患者さんの体調確認や薬の管理、酸素・カテーテル管理、床ずれ等の医療処置を行います。また、医師の指示の下、医師に代わり特定行為ができる看護師がおり、患者さんの状態を判断した上で点滴等を必要とする初期段階で対応します。

地域医療連携室は、医療機関や介護福祉施設と連携を図り、患者さんに適切な医療・介護・福祉サービスを提供するための窓口です。入退院に際しての支援や施設入所などの医療相談も行っております。



1階 外来化学療法室

外来化学療法室は、がん患者さんが入院せず外来で薬物療法（化学療法）ができる専用の治療室です。治療室には、リクライニングチェア3台とベッド2台のそれぞれにテレビが備え付けられています。また、トイレも完備しており、リラックスして治療を受けることができます。

2階 腎センター

腎センターは、正常に機能しなくなった腎臓の代わりに体内に溜まった老廃物や毒素、余分な水分をろ過する人工透析治療を行っています。当センターでは、安全・感染対策に十分配慮しながら、患者さんと家族に寄り添った看護を提供できるよう日々心掛けています。令和4年5月より月曜日・水曜日・金曜日に午後



の部の透析を開設しました。

2階 手術室

手術室では、看護師が手術を受ける患者さんの不安を少しでも解消できるように、手術前・術後に病棟を訪問し、写真付きパンフレットや術後使用する物品を用いて手術の流れを説明します。また、患者さんのお好みの曲を流し、リラックスしていただけるような環境を作りながら、安心安全な看護を提供しています。



3階 西病棟：内科病棟

3階西病棟は、主に肺炎や心不全、内視鏡治療、糖尿病、腎不全等の疾患で入院治療や教育が必要な方の病棟です。高齢者の方が約7割を占め、患者さんに合った食事の検討や介助、日常生活の援助を提供しています。慢性的な経過をたどる患者さんには、セルフケアの説明や家族指導を行っています。

3階 東病棟：外科病棟

3階東病棟は、手術や入院による化学療法等が必要な患者さんの看護を行っています。手術前後のケア、在宅復帰へのリハビリなど、元の生活に戻れるように多職種と情報交換を行い、個人に合った看護に取り組んでいます。リハビリで獲得している動作を確認し、病棟でも取り入れています。

日々変化がある患者さんの笑顔を共有できる活気あふれる病棟です。



4階 西病棟：医療療養病床・内科病棟

4階西病棟の医療療養病床は、急性期治療を経て長期的な医療処置が必要な方が対象です。内科病棟では、介護を行うご家族のためにレスパイト入院（介護休息）も受け入れています。併設された開放的なベランダで車椅子のまま過ごせるなど、患者さんとお家族が心地よく過ごせるような環境となっています。



4階 東病棟：緩和ケア病棟

4階東病棟は、がん患者さんとそのご家族の心の辛さや不安を和らげる事を最優先としたケア及び終末期の痛みのコントロールの看護を中心に行っています。患者さんがその人らしく、ご家族とともに有意義な時間が過ごせるように支援しています。患者さんが好む料理をご家族が提供できるようキッチンを備えています。また、ペットとの面会も可能です。※感染状況により面会が制限される場合があります。



入院設備のご案内

3階多床室(大部屋)

3階病棟の多床室は4人部屋で、それぞれのベッドサイドの窓から外が見え、眺望や採光に考慮しています。枕元が重ならないベッド配置で、カーテンを仕切ることでプライベート空間が確保できます。廊下には各部屋の横に車いす等でも利用できる広さのトイレが設置されています。また、体重を預けられる補助バーや背面クッション等があり安全に配慮しています。



入浴（機械浴・個人浴）について

入院中の入浴は、寝たまま入浴できる機械が整備されています。ジャグジー機能がついており、肩まで心地よく入浴することができます。また、個人浴もあり自宅に近い環境で入浴することができます。



看護部で活躍する人達

ナースエイド（看護補助者）

ナースエイドは、入院療養中の患者さんの排泄の介助やシーツ交換など看護師と協力して療養の支援を行っています。患者さんの身近なところで活躍しています。

MSW（医療相談員）

患者さんの生活や介護施設などの入所相談を受ける医療現場の社会福祉士です。当院では、患者さんが住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう、経済的・社会的・心理的な問題を解決できるように支援します。



ケアマネジャー

介護保険に関する相談、認定申請の手続きの支援、認定を受けた方のケアプラン作成、サービスの連絡・調整等を行います。入院時から退院に向けた調整に早期から関わります。当院には訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションが併設されていますので、情報交換もスムーズです。ターミナル期は、病状やご本人の意思に合わせて、その方らしい日々が送れるよう支援しています。



看護師の活動の一部をご紹介します

皮膚・排泄ケア認定看護師 柳井 梨佐

傷や床ずれ、人工肛門、おむつかぶれ、フットケアを専門にケアする看護師です。

- ①人工肛門装具の選択・交換指導等
- ②褥瘡患者のケア方法・ポジショニング・体位交換について
- ③皮膚が弱い方のスキンケア方法や予防
- ④便・尿失禁によるスキントラブルやオムツの選択
- ⑤胃ろう・瘻孔（ろうこう）などのケア方法
- ⑥透析患者のフットケア・巻き爪・爪肥厚を保有する患者の爪切り



「人工肛門の袋から便が漏れる」「床ずれの処置に困っている」「皮膚トラブルが予防できないかな」など、お困りの方がいらっしゃいましたら、外来受診時に相談してください。在宅療養されている患者さんのケアも訪問看護師に同行して行っています。

認知症ケアチーム

物忘れがひどくなると、排泄の失敗や理解力が低下し、本人も含め家族も不安が募ります。認知症患者の心理や病院におけるケア方法を話し合い、認知症患者へのよりよい看護を提供します。



糖尿病チーム

糖尿病は生活習慣病で、食べ過ぎや運動不足が原因となります。自主的に治療に取り組み、生活習慣を見直さなければいけません。必要な治療への知識を深め、問題点を見つけ、自己管理へのスキルが向上できるようサポートします。



口腔ケアチーム

口腔ケアは「食べる」「話す」といった生きがいや生活の質（QOL）に直結する機能を守る大切なケアです。歯科医師と連携し定期的に勉強会を行い、知識を深め、歯磨きや痰の除去などの毎日の口腔ケアの実践に生かしています。



嚥下サポートチーム

年を重ねると飲み込む力が弱くなり、誤嚥からの肺炎の原因となります。安全な食事の形や飲み込み方法について、医師や栄養士と共に考えています。



骨粗鬆症チーム

骨粗鬆症は自覚しづらく、特に女性は閉経後に骨密度は急激に低下し、転倒や骨折から介護が必要になります。患者さんに合った治療や運動を検討し、健康寿命を伸ばすお伝いをします。



実習指導者チーム

当院は看護学生の実習を受け入れています。学生が多くの看護現場を経験できるように、患者さんの理解や協力を得ながら、未来の看護師の育成に努めています。



地方独立行政法人 芦屋中央病院



診療科

- | | | | | |
|-----------------|-----------|------------|--------------|---------|
| ● 内科 | ● 消化器内科 | ● 循環器内科 | ● 糖尿病・代謝内科 | ● 呼吸器内科 |
| ● 腎臓内科 | ● 人工透析内科 | ● 糖尿病・腎臓内科 | ● 膠原病内科 | ● 肝臓内科 |
| ● 神経内科 | ● 肩関節専門外来 | ● 外科 | ● 乳腺外科 | ● 整形外科 |
| ● 骨粗鬆症専門外来 | ● 泌尿器科 | ● 眼科 | ● 皮膚科・形成外科 | ● 耳鼻咽喉科 |
| ● スポーツ外傷・障害専門外来 | | ● 緩和ケア外来 | ● リハビリテーション科 | |

その他

- 芦屋中央病院指定居宅介護支援事業所
- 芦屋町訪問看護ステーション
- 健康診断センター
- 通所リハビリテーション
- 訪問リハビリテーション

受付時間

午前 (月曜～金曜) 8:00～11:30まで
 (土曜) 8:30～11:00まで (整形外科のみ)
 ※新患の受付は8:30～となります。

午後 (月曜～金曜) 12:30～16:00
 (リハビリは18:00まで)

スポーツ外傷・障害専門外来初診受付時間

(月曜～木曜) 11:00～17:00
 (金曜) 12:30～16:00
 (土曜) 9:00～11:00

TEL 093-222-2931 (代)

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7

FAX 093-222-2176 (代)

FAX 093-223-0301 (地域連携室)

URL: <http://www.ashiya-central-hospital.jp>



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「中央病院・遠賀川駅線」にて「芦屋中央病院玄関前」バス停下車
 ・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋(第二栗屋)」または「芦屋(鶴松団地)」行きにて「芦屋中央病院下」バス停下車
 ・JR折尾駅から北九州市営バス(日吉台・水巻町図書館・向田)經由芦屋中央病院玄関前「行き」にて「芦屋中央病院玄関前」バス停下車

地方独立行政法人 芦屋中央病院外来診療担当表

2022年11月1日現在

診 療 科	時間	月	火	水	木	金	土
消 化 器 内 科	午 前	櫻井	松田	今村	中島	高木	
肝 臓 内 科	午 前		日浦				
内 科	午 前	呼吸器科 船田		呼吸器科 矢寺(第1週) 先成(第2・3・4・5週)	呼吸器科 船田	膠原病内科 宮田	
		高木	占部	日浦	占部	横溝	
		吉村	循環器内科 赤司	循環器内科 瀬戸山	循環器内科 永田	循環器内科 岡部	
		糖尿病・ 代謝内科 松下	糖尿病・ 腎臓内科 鈴鹿	糖尿病・ 代謝内科 松下	糖尿病・ 腎臓内科 瓜生	糖尿病・ 代謝内科 松下	
					神経内科 山本	鈴鹿	
	午 後	糖尿病・ 腎臓内科 瓜生		糖尿病・ 腎臓内科 瓜生		膠原病内科 松永	
				呼吸器科 竹中			
総 合 内 科	午 後	日浦	松下	占部	高木	瓜生	
		今村	鈴鹿	松田	中島	横溝	
泌 尿 器 科	午 前	井上	井上	井上	井上	井上	
	午 後	井上 (女性専用診療)	井上	井上 手術の際休診	井上	井上	
整 形 外 科	午 前	河野(新患)	産医大医師(新患) 内藤(第1・3・5週) 佐藤(第2・4週)	熊谷(新患)	佐羽内(新患)	産医大医師(新患) 山田(第1・3・5週) 塚本(第2・4週)	産医大医師
		佐羽内	佐羽内	河野	河野	河野	
		肩関節専門外来 熊谷		佐羽内		熊谷	
	午 後	14:30~ 河野	内藤(第1・3・5週) 佐藤(第2・4週) ※午後受付15:30まで	担当医 (佐羽内) 手術の際休診	熊谷	山田(第1・3・5週) 塚本(第2・4週) ※午後受付15:30まで	
						13:30~15:30 骨粗鬆症 佐羽内	
スポーツ外傷・ 障害専門外来 (予約制)	午 前	11:00~ 迫田	11:00~ 迫田	11:00~ 迫田	11:00~ 迫田		迫田
	午 後	迫田	迫田	迫田	迫田	熊谷	
外 科 (乳腺外科)	午 前	水田	永渕		水田	水田	
	午 後				永渕(再診のみ)		
緩和ケア外来 (予約制)	午 前	水田				水田	
	午 後	水田				水田	
眼 科	午 前	藤井					
	午 後				岡本		
皮 膚 科・ 形 成 外 科	午 前				澤田		
	午 後	石井 (月2回予約のみ)					
耳 鼻 咽 喉 科	午 前				鈴木/北村	産医大医師	
	午 後		14:00~ 産医大医師				
腎 外 来	午 前	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	

※午後は手術のため休診になることがありますので、ご来院の前に電話にてお問い合わせください。
新型コロナウイルス感染症の対応のため、2020年4月より内科など複数科において、土曜日が休診となっています。